

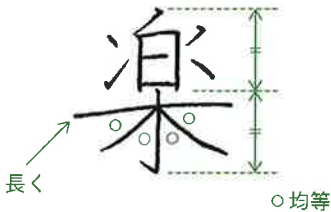
おとな字 トレーニング

講師
小高桃果さん



益子陶器市 (写真/益子観光協会)

① ワンポイントアドバイス



楽の字は両手に持った鈴を鳴らしながら、踊っている人の姿を現したものとされます。10画目の横線は長めに、白の脇にある4つの点は角度と長さを良く観察して、シャンシャンと鈴が鳴るよう軽やかに書きましょう。上下のバランスも大切。均等になるよう横中心の位置も見極めましょう。

小高 桃果 (おだか・とうか)

硬筆書道の先駆者である三上秋果の下で長年にわたり研さん。2006年、日本ペン習字研究会理事。2013年「4週間で美しく書ける！ボールペンおとな字練習帳」(日本文芸社)を上梓。著作多数。よみうりカルチャー大森講師。

〈テーマ〉

秋は行楽シーズン

画数の少ないカタカナは小さめに、直線に近い線でのびやかに書きましょう。

なぞって書いてみましょう。

秋は行楽シーズン

陶芸家たちの夢と希望をのせた器が並ぶ秋の益子(栃木県)。賑やかな通りから少し離れた所にある「濱田庄司記念益子参考館」を訪ねました。紅葉した生け垣と静かな空間、そして至宝の数々。都会の喧騒を忘れることができたひとときでした。そんな、ゆったりとした気持ちで練習することが、上達の秘訣かも。